

株式会社読売新聞大阪本社

・取り組み名称

読売未来共創プロジェクト

・取り組み概要

新聞、ニュースサイトなどの自社メディアやイベント開催など当社の事業を通じて様々な個人・企業・団体の SDGs 達成に向けた取り組みを全国に伝えていきます。持続可能な社会の実現に向けた新たなチャレンジを促すとともに、目標を同じくする個人・企業・団体をつなぎ、新たな共創の取り組みを支援します。たとえば以下のような取り組みを想定しています。

- ①SDGs 達成（例：住み続けられるまちづくりを）を掲げる企業を集めたフォーラムを開催。フォーラムを起点として企業間の連携を誘発することにより、新たな共創チャレンジを生み出します。
- ②産官学が連携し、高校生を対象とした SDGs 教育プログラムを開発（2025 年まで継続）。参画する企業や団体を増やし、取り組み自体を広げていきます。
- ③企業による SDGs をテーマとした小学生向けオンライン出前授業を継続開催・アーカイブ化し、参加した子ども達が自発的に考え、情報を発信していくことを促します。
- ④産官学が連携するイノベーションプログラムを立ち上げ、その中から共創チャレンジに登録されるような様々な産学連携のプロジェクトを生み出します。

・未来への宣言

持続可能な未来社会の実現に向け、弊社の「伝える力」「つなぐ力」によって企業・団体や個人の連携を生みだし、新たなイノベーションが誘発される循環を作っていきます。

・提供できるリソース

リソース	内容
情報発信・PR	新聞やニュースサイト等での情報発信が可能です。
ネットワーク	SDGs に取り組む様々な個人・団体をつなぎます。
人材	取材やイベント運営など、様々な分野にプロフェッショナルがいます。
その他	文化、スポーツ、レジャーなど約 150 社のグループ会社・団体を抱えており、多様な展開が可能です。
その他	新興企業育成プログラム「スタートアップbootキャンプ・スケール・大阪」、うめきた 2 期エリア「うめきた外庭スクエア」など、関西を舞台にイノベーションを誘発する取り組みのパートナー企業として、共創を作り出しています。

・創出・支援したい共創チャレンジの取り組み

分野を指定するわけではなく、様々な社会課題の解決に取り組む個人・企業・団体を対象とし、ニュース性や社会貢献の高いチャレンジの創出や支援をしていきたいと考えています。「取組概要」で挙げた例の場合、以下のような共創チャレンジを創出・支援したいと考えています。

- ①フォーラムをきっかけとした産官学の連携をもとに、例えばうめきたエリアなどで、持続可能なまちづくりを目指した実証実験などのチャレンジを支援します。
- ②一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームが推進する「みらいハイスクール」を共創パートナーと

して支援します。特に、全国の高校生の課題解決学習と地域課題解決へのチャレンジを支援します。

③小学生がSDGsへの理解を深め、地域や身のまわりの課題解決に自発的にチャレンジすることを支援します。

④大企業とスタートアップ企業や学生が課題解決に向けて取り組み、そこから生まれたアイデアの事業化やプロジェクト化を目指すことを支援します。

・今後取り組みを展開したい地域・方法

自社メディアやイベントを通じ、関西を中心に全国に取り組みを広げていきたいと考えています。

・共創していきたい方々

特に分野は問いません。企業・教育機関・行政など、各団体が抱える課題に対し、当社がハブとなって共創を支援したいと考えています。

上記の「創出・支援したい共創チャレンジ」で記載した各取り組み例の場合、「デベロッパー、総合レンタル企業、通信会社、電機メーカー、化学メーカー、食品メーカー、大学」等を共創相手として想定しています。